

『時事直言』 No.1068 年 4 月 19 日

時事直言ホームページ：<http://chokugen.com>

時事直言 携帯サイト：<http://mobile.chokugen.com>

FAX：03-3955-6466



時事評論家 増田俊男

Mr. Jim Rickards 氏

Jim さんが 1971 年ニクソン政権以来 CIA、ペンタゴン（国防総省）、NSA（国家安全保障局）のアドバイザーをしてきたことはすでに本誌で述べた通り。

安倍首相はノーベル賞受賞経済学者スティグリッツ氏、クルーグマン氏など著名な経済専門家を招き、日本がとるべき経済政策についてアドバイスを受けたが、同じ時期（3月20日から24日）Jim さんも来日していた。

上海サミット G20（2月26日）でもそうであったように Jim さんはいつも隠密行動に徹する。上海では Lew 財務長官と、又日本では主計局の関係者と密談をしている。

私は 4 月 15 日カリフォルニアの Carlsbad（サンディエゴの近く）でお会いし私のラジオ番組と 4 月 22 日（金）のインターネット・セミナー用のインタビューをした。

霞が関に、アベノミクスと黒田異次元金融緩和政策は全くの大失策であることを伝え、今後直ちに採るべき施策を与えたと言う。

来る 22 日の私のインターネット・セミナーを聞いていただくとわかるが、驚くべき指摘だ。

スティグリッツ氏やクルーグマン氏は、安倍首相に金融緩和政策は早番止めて財政政策、特に公共投資を増やすべき、消費税増税などともなないと進言したが、Jim さんも公共投資については同感だが、累積赤字が GDP の 240%もある状態での財政出動には限界があるばかりかリスクがある。

従って公共投資の選別が大事であると言い、何に投資をしたらいいかを進言しておいたと言っていた。

Jim さんは金融緩和は限界にきているが、止めることはないと言う。

これは先の経済学者お二人と違う点である。

これからは緩和資金で国債を買わず金（ゴールド）を買えと言う。

潜在的破綻国債である日本の国債を金で裏付けると同時に緩和効果も期待できるから一挙両得だと言う。

私はさすがに Jim さんは違うと感心した。

Carlsbad に出てくる前は IMF の春の総会でレガート専務理事にアドバイス、その前の日は CIA で IS への資金源を断つ新手をアドバイスするなど、毎日が分刻みである。

私には特別にたっぷり 1 時間とディナーの後のフリー時間を割いてくれた。

世界経済、日本経済、そして最も重要なことだが、「これからどうやって大儲けをするか」を丁寧に教えてくれた。

Jim さんからの日本の皆様だけに発信する「特ダネ企画」については追ってお知らせする。

インターネット・セミナー（<http://movie.masuda-toshio.com/>）をご覧ください。

大好評発売中！増田俊男の小冊子 Vol.78 『戦争特集』

現在、増田俊男の小冊子 Vol.78『戦争特集』を好評発売中です。*時代の変化を読む*中東戦争は世界エネルギー覇権戦争*上海合意（2月26日）と通貨戦争*米・中・IMFの基軸通貨戦争*市場の焦点が変わる、儲け方が変わる*2025年から日本は再び Japan as No.1になる等の内容です。お申込みについてはマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社（Tel：03 3955-6686、HP：www.chokugen.com）まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前にマスダ U.S. リサーチジャパン株式会社（Tel:03-3955-6686）までお知らせ下さい。